

令和9年度事業方針に関する意見聴取

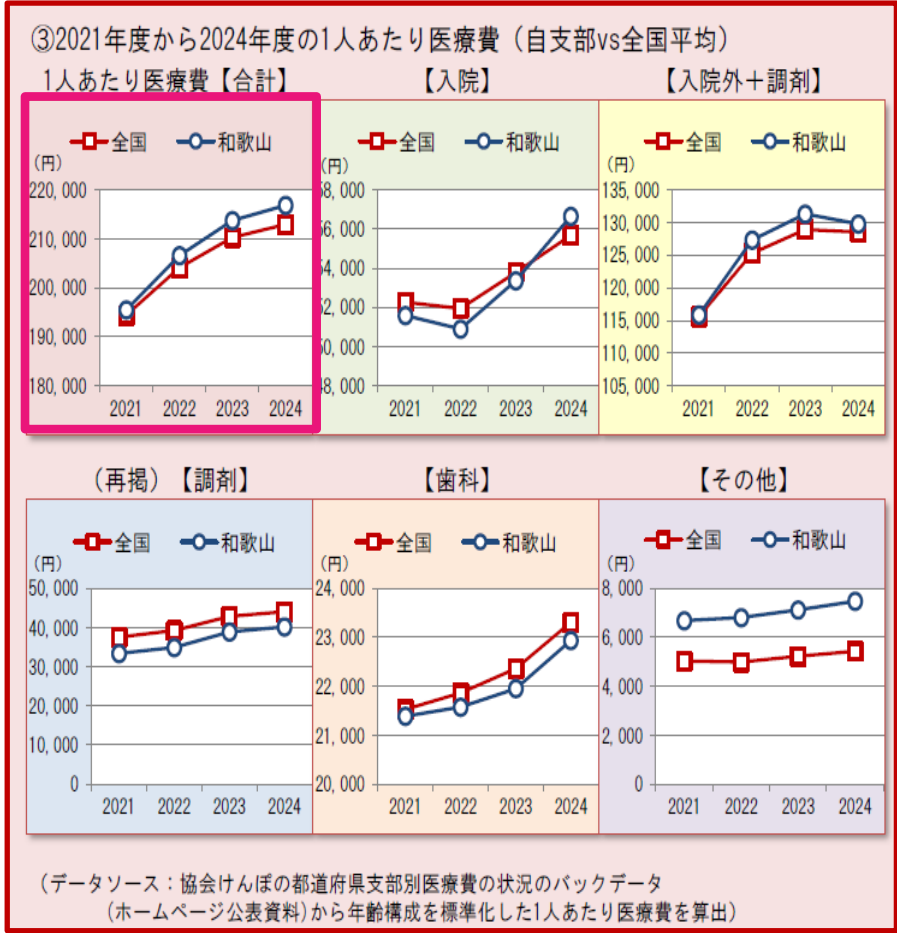


全国健康保険協会 和歌山支部

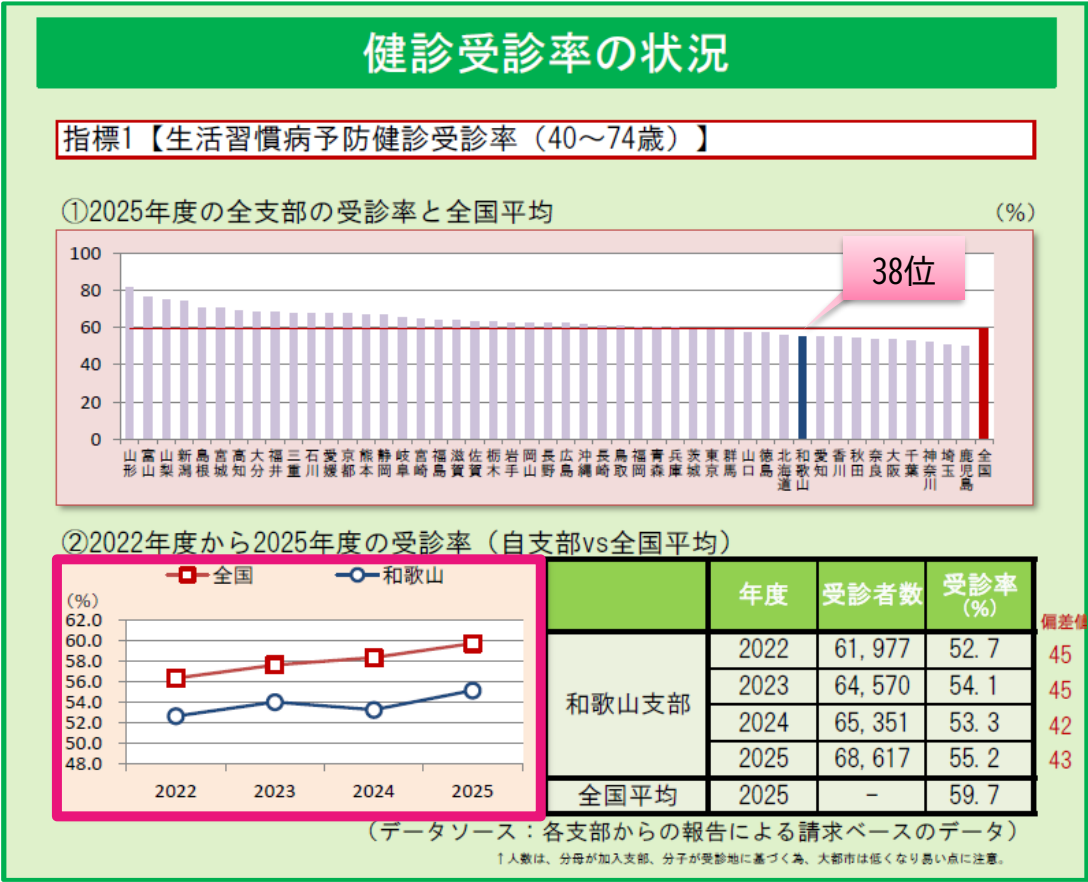
和歌山支部の健康課題

1. 1人あたり医療費が全国平均より高い。(33位)
2. 生活習慣病予防健診受診率が全国平均より低い。(38位)
3. 特定保健指導実施率(被保険者・初回面談)が全国平均より低い。(36位)
4. 特定保健指導実施率(被保険者・実績評価)が全国平均より低い。(36位)
5. メタボ及びメタボ予備群の割合が全国平均より高い。(男性：34位・女性：28位)
6. 血圧リスク保有者の割合が全国平均より高い。(男性：35位・女性：35位)
7. 喫煙習慣がある者(女性)の割合が全国平均より高い。(男性：21位・女性：38位)
8. 運動習慣要改善者(女性)の割合が全国平均より高い。(男性：15位 女性：28位)

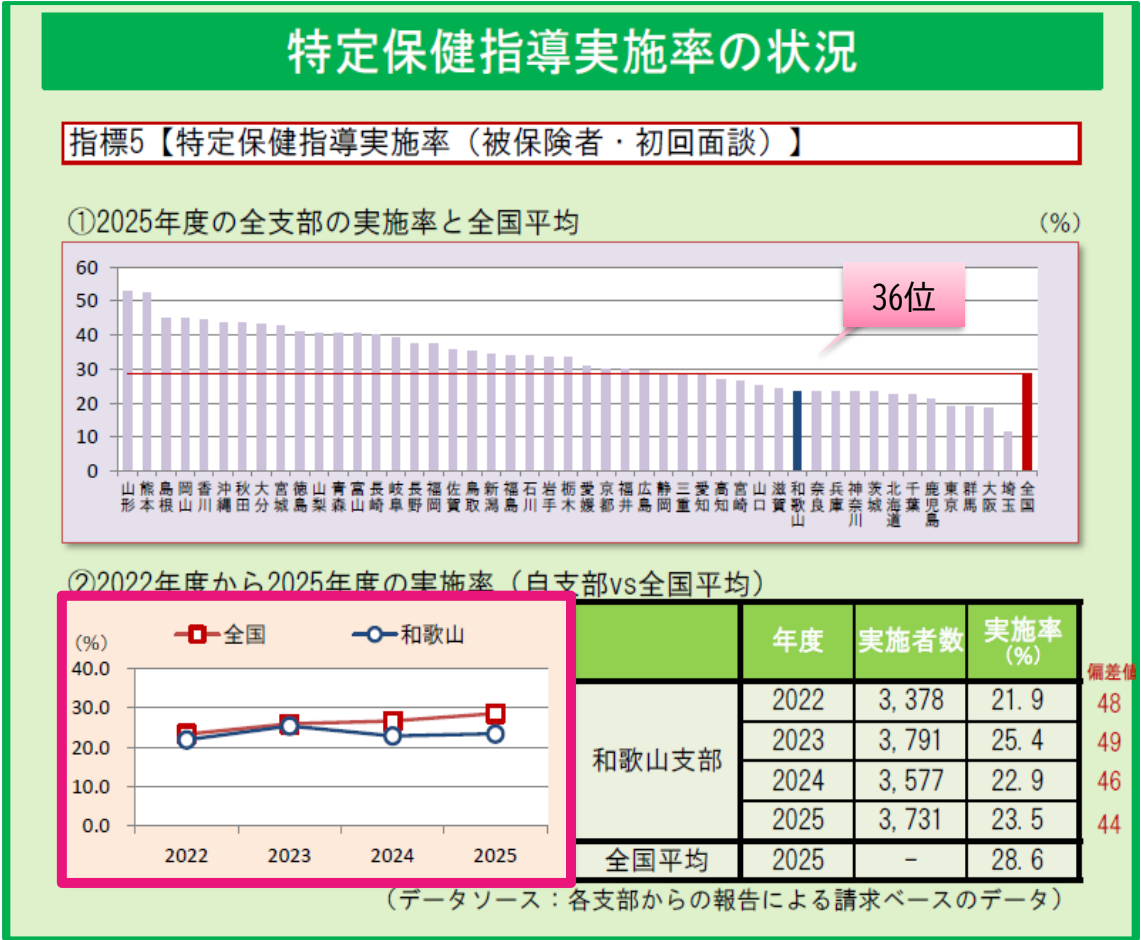
1. 1人あたり医療費が全国平均より高い。



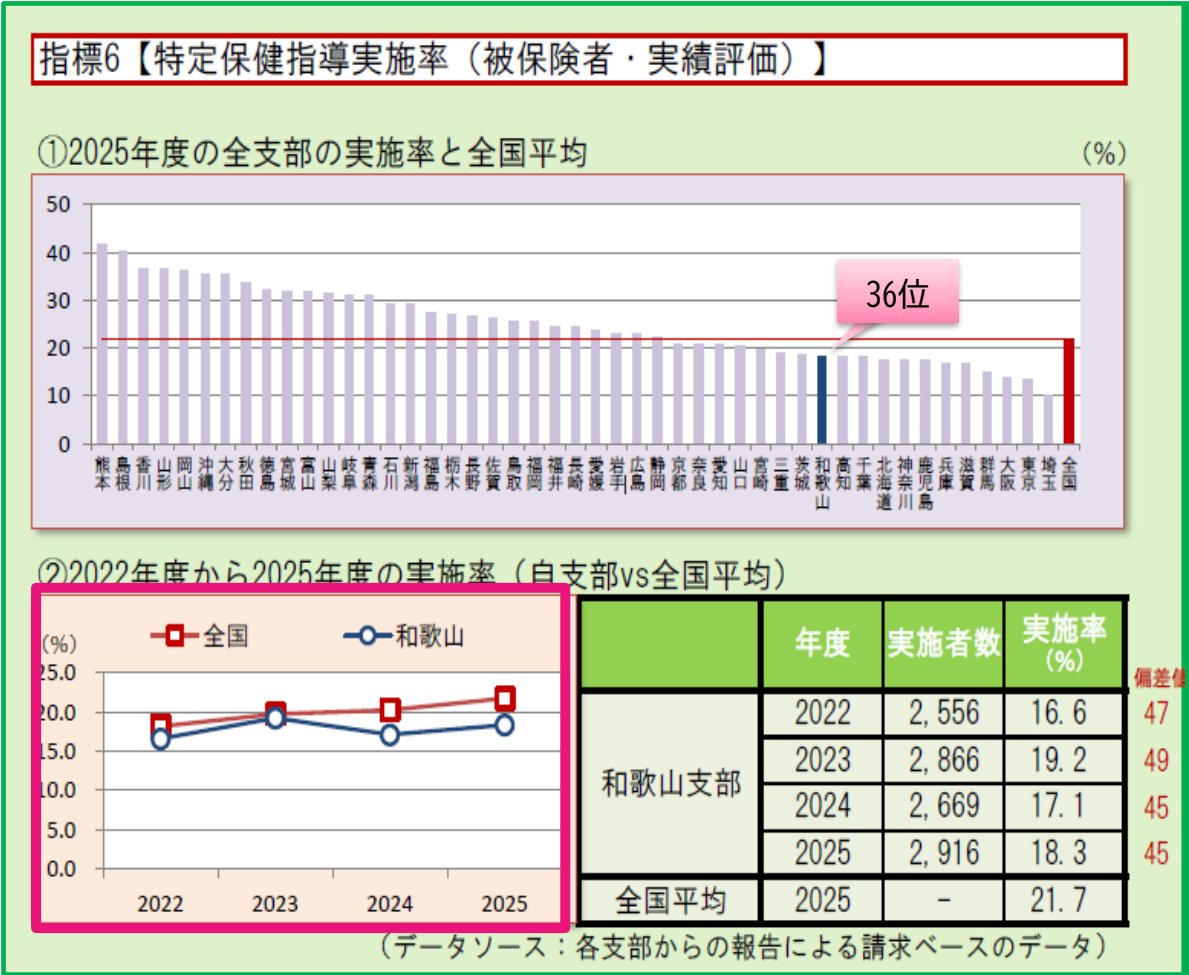
2. 生活習慣病予防健診受診率が全国平均より低い。



3. 特定保健指導実施率（被保険者・初回面談）が全国平均より低い。



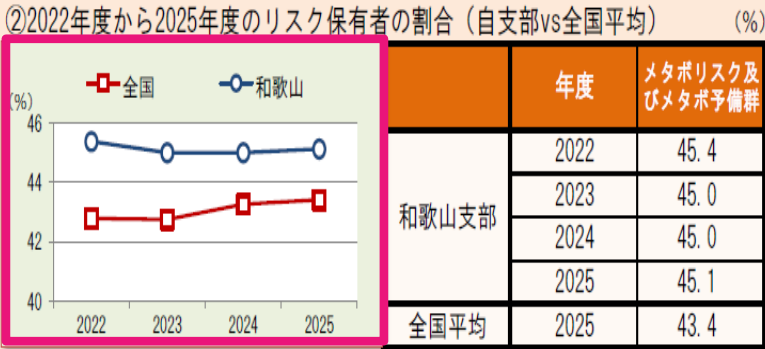
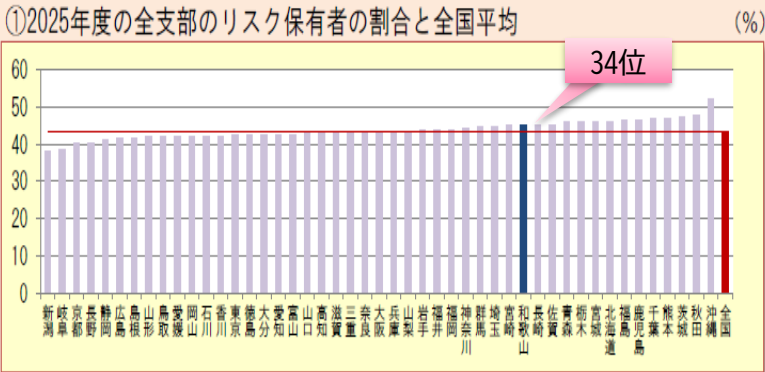
4. 特定保健指導実施率（被保険者・実績評価）が全国平均より低い。



5. メタボ及びメタボ予備群の割合が全国平均より高い。

男性

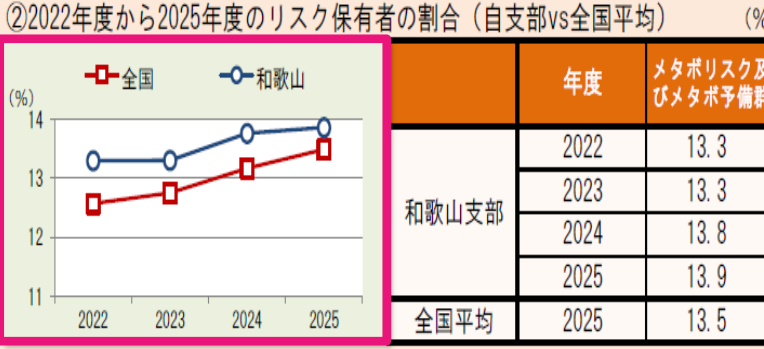
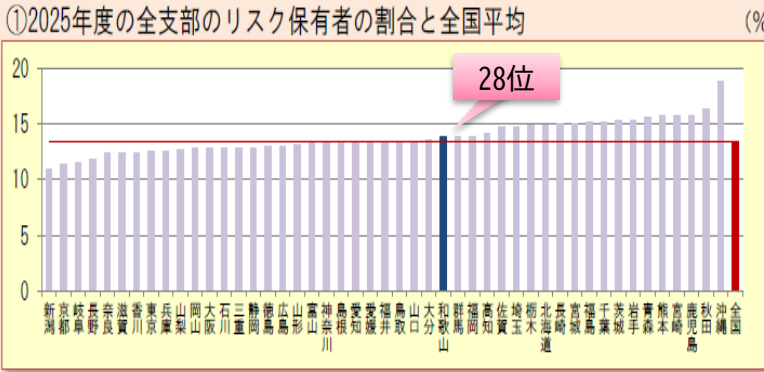
指標2【メタボ及びメタボ予備群の割合】 ※各検査値から検算。判定不能は除外。



（データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整後の割合）

女性

指標2【メタボ及びメタボ予備群の割合】 ※各検査値から検算。判定不能は除外。

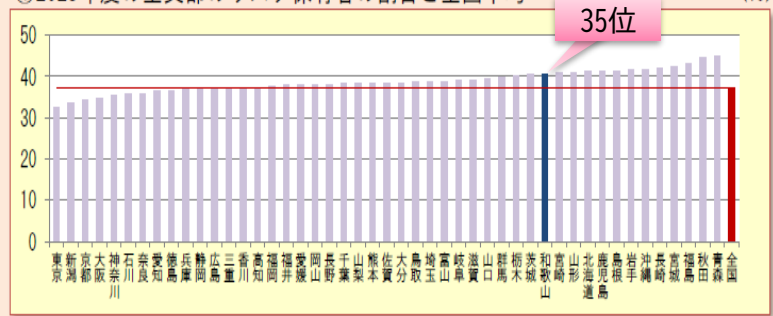


（データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整後の割合）

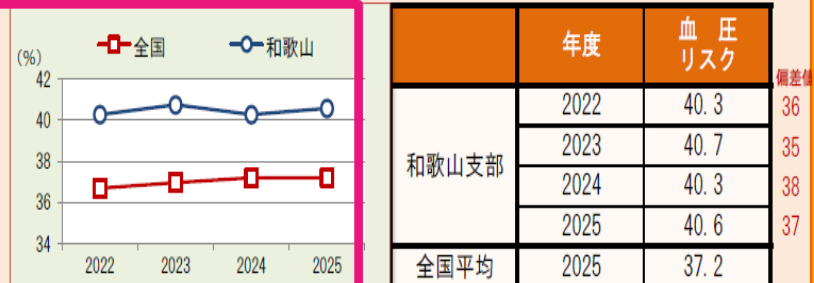
女性

指標4【血圧リスク保有者の割合】

①2025年度の全支部のリスク保有者の割合と全国平均



②2022年度から2025年度のリスク保有者の割合（自支部vs全国平均）（％）



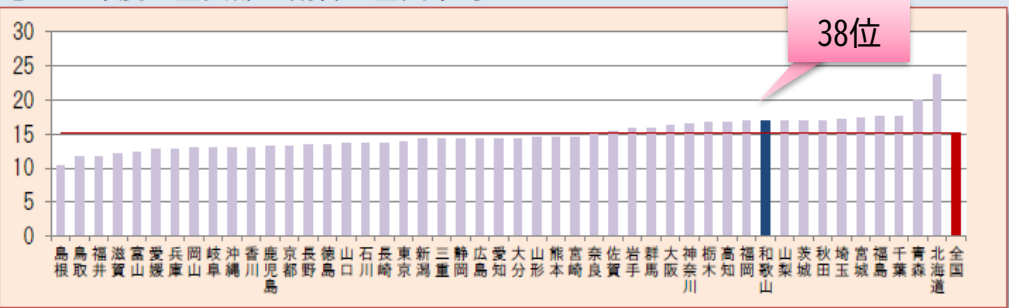
(データソース:「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整後の割合)

7. 喫煙習慣がある者の割合が全国平均より高い。

女性

指標1【喫煙習慣がある者の割合】

①2025年度の全支部の割合と全国平均 (%)



②2022年度から2025年度の割合（自支部vs全国平均） (%)



(データソース: 「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整後の割合)

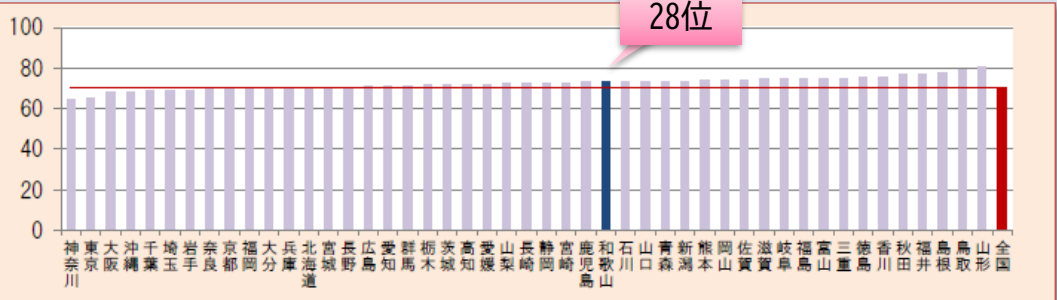
8. 運動習慣要改善者の割合が全国平均より高い。

女性

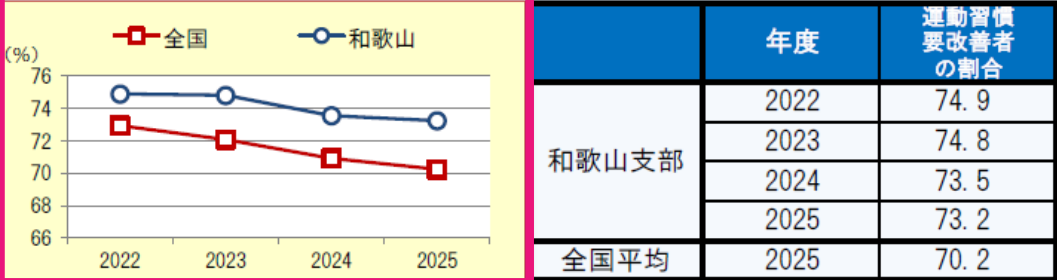
指標3【運動習慣(3問中2問以上)要改善者※の割合】

※「11回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の割合。個々の詳細データはP. 25を参照してください。

①2025年度の全支部の割合と全国平均



②2022年度から2025年度の割合（自支部vs全国平均）



(データソース：「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整後の割合)

1. 医療費適正化対策

事業名	1	乳幼児医療費の適正化に係る支援事業
実施概要	乳幼児医療費(0～4歳)は、5～30歳の一人当たり医療費に比べ高い状況となっている。その要因として乳幼児の発熱や泣き止まない状況時等に、親が原因を特定できず心配のあまり、まず医療機関を受診することで安心感を得ようとするのが原因の一つと考えられる。そのような不安を少しでも軽減できるツールとして、0歳児の被保険者に対し、医療機関にかかるまでの対応を示した書籍を配付する。	

2. 広報

事業名	2	県広報誌への広報(県民の友)
実施概要	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。※和歌山県全域を網羅する地方紙が無い場合、効率的に加入者及び事業主に、直接事業案内や情報提供をすることができる。	
事業名	3	WEB動画による広報
実施概要	昨今、デジタル媒体の視聴者が増えていることより、WEB動画を作成・配信することにより協会けんぽ事業の案内・周知・情報提供を図る。和歌山支部の課題として、健康経営優良法人の認定数が同規模支部と比較して少ないことから、健康経営推進の広報を行い、健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定数の増加に繋げる。また、本部が作成する健診体系の見直し動画を配信する。	
事業名	4	シネアートの活用による広報
実施概要	県内の映画館にて、映画上映前に放映する広報にて協会けんぽの事業を紹介し、映画鑑賞者の協会けんぽ事業への理解度向上を図る。映画放映前の広報については、映画鑑賞者が画面を集中して見ることから、広報内容が他の広報媒体と比べ取り込まれやすいことが利点と考える。	
事業名	5	ポスターによる小学生への啓発事業
実施概要	8年度新規事業	協会けんぽのSDGsに資する取組として、小学生への健康教育に取り組んでいるが、その一環として、健康保険の啓発にかかるポスターを作成し、県内小学校(231校)に掲示を行う。

3. 健診・特定保健指導実施率の向上

事業名	1	事業者健診データ取得にかかる提供依頼書取得勸奨及び健診結果(紙媒体)取得勸奨業務等の外部委託
実施概要	事業者健診データ取得業務については、事業所から「健診機関を通じて健診結果データを提供する旨の提供依頼書」を取得する業務や、健診機関からデータでの取得ができなかった場合はあらためて事業所へ説明のうえ紙媒体により健診結果を取得しデータ化する必要があるなど、事務作業が非常に複雑で煩雑となっており、それらを全面的に外部委託することで、効率よく業務を進める。	
事業名	2	協会主催集団健診(特定健診)の実施
実施概要	対象者が多い地域を中心に、自己負担無料の協会主催集団健診(特定健診)を実施する。 (予定対象地域:和歌山市、海南市、橋本市、紀の川市、岩出市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市) また、申込率向上のため、健診会場において無料オプション検査(血管年齢測定)もあわせて実施する。なお、その他の地域については、市町村主催の集団健診に乗り入れが可能となっている。	
事業名	3	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施
実施概要	協会けんぽの特定健診と自治体のがん検診を同日に受診できる集団健診を実施することで、特定健診の実施率向上を図る。 ①自治体主催の集団健診(国保の特定健診とがん検診)への乗り入れができない自治体(和歌山市、海南市、橋本市、紀の川市)において、それらの自治体と連携し、協会けんぽの特定健診とがん検診の集団健診を実施する。 ②自治体主催の集団健診への乗り入れができていない自治体のうち、申込の受付締切が早い自治体(みなべ町、上富田町、すさみ町)においては、それらの自治体と連携し、年度前に案内を送付する。	
事業名	4	被保険者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勧奨
実施概要	主に前年度において生活習慣病予防健診未受診であった和歌山県内の被保険者個人を対象に、受診勧奨の案内を送付する。	
事業名	5	事業所に対する若年者健診の案内 8年度新規事業
実施概要	当年度において若年層(20歳、25歳、30歳)の被保険者を有する事業所あてに、新たに開始する一般健診(若年)について受診案内を送付し、新制度の周知を図る。	
事業名	6	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業
実施概要	各医療機関に特定健診案内ポスターを配布し、掲示・広報することで特定健診の周知を図る。 院内掲示用の特定健診案内ポスターを作成し、和歌山県医師会を通じて、各医療機関へ配付する。	
事業名	7	特定保健指導にかかるリーフレット等の作成
実施概要	目標設定シート、特定保健指導案内用リーフレット、共同利用にかかる周知チラシの作成等を行う。	
事業名	8	検診車における特定保健指導の遠隔面談分割実施
実施概要	特定保健指導を実施できる体制がない健診機関において、集団健診当日に遠隔面談による特定保健指導体制をつくることにより、特定保健指導利用者の拡大を図る。	
事業名	9	健診機関の施設内における特定保健指導の遠隔分割実施 8年度新規事業
実施概要	特定保健指導を実施できる体制がない健診機関において、健診当日に遠隔面談による特定保健指導体制をつくることにより、特定保健指導利用者の拡大を図る。	

4. 未治療者の受診勧奨・重症化予防対策

事業名	10	未治療者に対する受診勧奨(二次勧奨:文書勧奨)
実施概要	健診受診後、血圧・血糖・脂質検査の結果、要治療と判定されながら医療機関を受診していない治療放置者に対し、支部で毎月受診勧奨を実施する。	
事業名	11	未治療者に対する受診勧奨(健診機関0次勧奨)
実施概要	Ⅱ度高血圧以上の者に対し、医師または看護師が、健診当日に対面による受診勧奨を実施。その後、受診につながったか確認をとり、支部へ報告する。受診勧奨にかかる経費および受診につながった成果に対しインセンティブを付与する。	
事業名	12	糖尿病性腎症重症化予防対策(かかりつけ医と連携した保健指導の実施)
実施概要	和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムに合わせて、ハイリスク者への保健指導勧奨を実施する。 ※高血糖で腎機能障害の疑いがある者への保健指導案内の送付 保健指導案内文書および申込書を送付する。	

5. コラボヘルスの推進

事業名	13	健康宣言事業所情報提供サポート事業
実施概要	健康宣言事業所に対し、定期的に健康づくりに関する情報提供を行い、職場内の健康づくりに役立てていただくもの。	
事業名	14	健康宣言事業所健康づくりサポート事業
実施概要	健康宣言事業所に対し、健康経営のサポートとして健康器具の貸し出しや健康講座を開き、従業員の健康づくりのサポートを実施する。	
事業名	15	健康経営促進セミナーの実施
実施概要	健康経営の啓発、および健康宣言登録事業所・健康経営優良法人認定制度の申請事業所の増加を目的とし、オンライン形式による健康経営に関するセミナー等を実施して、健康経営を实践するよう啓発を行う。 あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。	

6.その他の保健事業

事業名	16	歯科健診とのコラボによる休日の特定保健指導の開催	
実施概要	特定保健指導の利用勧奨を実施しても、「希望しない」「自己管理する」といった回答が多くみられる。また、事業所へ案内した際に、業務上平日の実施が難しいという事業所も一定数ある状況。そのため、休日に特定保健指導を利用できる機会を設定するとともに、歯科健診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。また、糖尿病重症化予防と歯科予防との間に関連があることから、歯科健診を通じて歯周病予防につなげる。		
事業名	17	リバウンド防止対策啓発事業	
実施概要	特定保健指導評価終了後、次年度の健診までに体重が増えてしまう人を減らすことを目的に、健診1～2か月前に体重増加の予防意識啓発のリーフレットを送付し、体重増加の防止及び減量を促す。		
事業名	18	家庭血圧測定の普及啓発	
実施概要	特定保健指導の対象者に関わる中で、血圧基準値を自己判断していたり、自宅での測定習慣があっても正しい方法で実施できていない場面に遭遇する。また専門医でない医療機関を受診した場合など、最新の知見を踏まえたガイドラインに沿って診療ができていないこともある。加入者の誤った知識を修正するとともに、健診機関並びに精密検査受診先となりうる医療機関にも情報提供が必要である。まずは加入者がそれらの情報を受動的に入手できる方法として、生活習慣病予防健診の結果送付時に、情報を記載したリーフレットを同封することを試みる。		
事業名	19	わかやま健康フェア会場での特定保健指導の実施	
実施概要	事業所へ案内した際に、業務上平日の実施が難しいという事業所も一定数ある状況のため、休日に特定保健指導を利用できる機会を設定する。また、令和7年度下期実施の和歌山市がん検診同日実施会場では、当日の特定保健指導が準備できていないため、この機会に特保受診勧奨を行い、実施率の向上を目指す。		
事業名	20	特定保健指導対象者への運動セミナーの開催	8年度新規事業
実施概要	特定保健指導参加者の運動の取り組み促進を目的に、健康運動指導士による運動セミナーを開催する。 自宅のできるストレッチや筋力トレーニングの方法やウォーキングの歩き方などのセミナーと、インボディ測定や、AI歩行解析、姿勢チェックなどの測定を行い、運動の動機付けを行う。		

- 医療費情報や健診情報等の分析を行い、地域の健康課題等に即した事業実施に向け、令和9年度の事業計画・予算の策定を進めているところです。
- 本日は、資料でお示ししている支部の健康課題等を踏まえた事業を策定するにあたり、評議員の皆様からご意見を伺いたく存じます。

令和8年度に実施している事業は、P11～P14にお示ししております。令和9年度においても、支部の健康課題等に対する事業の策定を検討していますので、以下の視点でご意見を伺いたく存じます。

- 食習慣の改善を促す取り組み(血压・メタボ対策)
- 禁煙対策(喫煙者への効果的な働きかけ)
- 運動習慣の改善を促す取り組み
- 要治療と判定されている方への効果的な受診勧奨
- 事業主に健康経営を取り入れていただくための働きかけ
- 健康づくりを従業員に浸透させるため、協会けんぽに提供してほしい情報やサービス
- 大規模事業所に特定保健指導を受け入れていただくための施策